

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名 一般国道381号 <small>はげ</small> 半家バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	高知県						
起終点 自：高知県幡多郡十和村川平 至：高知県幡多郡西土佐村本村				延長 3.9 km						
事業概要 一般国道381号は、高知県須崎市を起点とし、愛媛県宇和島市に至る延長約72kmの幹線道路である。半家バイパスは、幅員狭小及び線形不良の解消を目的とした延長約3.9kmの2車線道路である。										
H1年度事業化	H-年度都市計画決定 (H-年度変更)	H3年度用地着手	H4年度工事着手							
全体事業費	148億円	事業進捗率	69%	供用済延長	2.0km					
計画交通量	3,400台/日									
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.7	総費用 (事業費：45/166億円 維持管理費：2/4億円)	総便益 (走行時間短縮便益：210/266億円 走行費用減少便益：17/19億円 交通事故減少便益：2/2億円)	基準年 平成15年						
	(残事業) 5.1									
事業の効果等 国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車すれ違い困難区間を解消する） 災害への備え（現道等の事前通行規制区間を解消する） 他8項目に該当										
関係する地方公共団体等の意見 国道381号は観光、産業振興、文化の発展及び地域交流の促進について重要な路線であるため、西土佐村をはじめとする2町2村の首長で構成される国道381号整備促進期成同盟会より早期整備の要望（平成14年2月24日）を受けている。										
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 一級河川四万十川は全国的にも有名な河川であるため、観光客による当該路線の利用が高まっており、道路利用者への安全対策が深刻化してきている。										
事業の進捗状況、残事業の内容等 一級河川四万十川沿線であるため、計画等に期間を要したが現在までに2.0kmを部分供用している										
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 一級河川四万十川沿線であることから、自然環境及び景観等に配慮しながら工事を進めており、平成18年度末の供用を目指す。										
施設の構造や工法の変更等 現道の歩行者の利用者が少ないことから、歩道幅員について検討し、コスト縮減を目指す。										
対応方針	事業継続									
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。									
事業概要図										
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>凡</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 20px; height: 10px; background-color: black;"></td><td>供用中</td></tr> <tr><td style="width: 20px; height: 10px; background: repeating-linear-gradient(45deg, transparent, transparent 2px, black 2px, black 4px);"></td><td>再評価箇所</td></tr> <tr><td style="width: 20px; height: 10px; background: repeating-linear-gradient(-45deg, transparent, transparent 2px, black 2px, black 4px);"></td><td>うち供用中</td></tr> </table> </div> <div style="width: 40%; text-align: center;"> <p>半家バイパス L=3.9km</p> </div> <div style="width: 25%;"> <p>起点 幡多郡十和村川平</p> <p>終点 幡多郡西土佐村本村</p> </div> </div>						供用中		再評価箇所		うち供用中
	供用中									
	再評価箇所									
	うち供用中									

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。